

情 報 公 開 用 文 書（茅ヶ崎市立病院で実施する医学系研究）

西暦 2025年 5月 7日 作成

■研究課題名	茅ヶ崎・寒川地域における早期膵がん診断プロジェクト導入による臨床的意義の検討
■研究の対象	後ろ向き研究の対象として2016年4月1日から2025年3月31日までの間に、茅ヶ崎市立病院で膵がん と診断された患者を対象とする。 前向き研究の対象として、「茅ヶ崎・寒川地域 早期膵がん診断プロジェクト」にて受診された患者を 対象とする。
■研究目的・方法	国立がん研究センターの調べでは、2023年の癌死亡予測で膵がんは第3位に位置し、年々上昇傾 向にある。膵がんは5年生存率 11.9%と非常に予後不良な疾患であるが、ステージ0の5年生存率は 85.8%と良好であり、早期診断・早期治療が重要となる。しかしながら、膵がんは診断時点で約80%が 切除不能であり、ステージ0やIで診断される割合は約5%である。当院でも2018年から2022年までに 診断された膵がんのうち、切除可能であった膵癌は17.4%、早期膵がんは5.4%であった。その原因 として、早期膵がんの有症状率は23.9%、検診での画像検出率は17%、採血での膵酵素上昇は 4.7%、腫瘍マーカー上昇は3.5%と、客観的所見に乏しいことが報告されている。早期膵がんの所見 として、膵管拡張、膵のう胞、膵臓の限局性萎縮が報告されており、腫瘍自体を発見するにはEUS （超音波内視鏡）が重要な役割を担う。 2007年にJA尾道総合病院より、地域連携を活かした早期膵臓がん診断プロジェクトが開発された。 地域連携を活用し、膵臓がんリスクのある患者さんに対し膵臓のEUSを中心とした精密検査を施行 することで早期膵がん、あるいは切除可能な膵がんを拾い上げる取り組みの有用性が報告されてい る。当院でも「茅ヶ崎・寒川地域 早期膵がん診断プロジェクト」を立ち上げ、2025年4月より順次開始 している。 茅ヶ崎・寒川地域において、「茅ヶ崎・寒川地域 早期膵がん診断プロジェクト」による地域連携を活 用することで早期膵がんの診断率向上を目的としている。
■研究期間	研究期間は承認日から10年間、2035年3月31日までとする。
■研究に用いる 試料・情報の種類	患者背景：年齢、性別、身長、体重、飲酒歴、喫煙歴 既往症：生活習慣病、膵疾患、悪性疾患、その他 家族歴：生活習慣病、膵疾患、悪性疾患、その他 紹介基準スコア/膵がんリスク因子 検査所見：腫瘍マーカー、膵酵素 画像所見：腹部超音波所見、MRI所見、超音波内視鏡所見 検査後膵疾患の評価 検査後膵臓所見
■試料・情報の 取得と保管方法	院内の電子カルテ内ファイルサーバに保存
■外部への 試料・情報の提供	なし
■研究組織	茅ヶ崎市立病院 消化器内科 外科
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料 を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで、電話またはFAXにてお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない 場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じるこ とはございません。	
お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：	
〒253-0042 茅ヶ崎市本村5-15-1 茅ヶ崎市立病院消化器内科 （研究責任者） 佐藤 高光 電話番号：0467-52-1111（代表）	